

福岡県みやま市

| | |
|-------------------|---|
| 住所 | 〒835-8601 福岡県みやま市瀬高町小川5番地 |
| 市長 | 松嶋 盛人 (バイオマス産業都市推進協議会 理事) バイオガス部会運営幹事 |
| HP | https://www.city.miyama.lg.jp/ |
| バイオマス産業都市 選定年度 | 2014年度 |
| バイオマス産業都市構想 | https://www.jora.jp/wp-content/uploads/2021/02/miyama_k.pdf |
| 担当部署 | 環境経済部 環境衛生課 |
| 連絡先 TEL | 0944-64-1521 |
| 連絡先 FAX | 0944-64-1546 |
| 連絡先 E-mail | junkan@city.miyama.lg.jp |



事業化プロジェクトの概要

| | | |
|------|------------------|--|
| 名称 | メタン発酵発電液肥化プロジェクト | |
| 実施主体 | みやま市 | |
| 実施体制 | プラントメーカー | 月島アクアソリューション株式会社 |
| | 設計・施工業者 | 月島アクアソリューション株式会社 |
| 概要 | バイオマス原料 | 生ごみ、し尿・浄化槽汚泥 |
| | 原料投入量 | 【2022年度実績】 生ごみ 1,780 (t/年) し尿 14,658 (t/年) 浄化槽汚泥 23,023 (t/年) |
| | バイオ液肥生産量 | 【2022年度実績】 10,885 (t/年) |
| | 発電量 | 【2022年度実績】 385,689 (kwh/年) |
| | FITの適用 | <input type="checkbox"/> FIT適用 <input type="checkbox"/> FIP適用 <input checked="" type="checkbox"/> FIT/FIP対象外 |

| | | |
|------|---------------|-------------------------|
| 名称 | 紙おむつ資源化プロジェクト | |
| 実施主体 | みやま市 | |
| 実施体制 | 処理委託業者 | トータルケア・システム（株） |
| 概要 | 原料 | 使用済み紙おむつ |
| | 原料投入量 | 【2022年度実績】 214 (t/年) |



紙おむつ回収BOX



紙おむつ専用回収袋

バイオマス事業の進捗状況

| 事業化プロジェクト | 進捗状況 |
|------------------------|---|
| 1.メタン発酵発電 液肥化プロジェクト | <p>2015年度 液肥利用研究会を設立。 (構成員はJA部会や農業法人等、活動内容は先進地視察や実地での液肥利用等)</p> <p>2016年度 生活環境影響調査、実施設計所、液肥散布モデル事業、液肥散布農地 土壌分析、生ごみ分別モデル事業</p> <p>2016年度 ～ 建設工事 (環境省「循環型社会形成推進交付金」)</p> <p>2017年度 住民説明会(生ごみ分別説明会)を市内約200カ所で行った。 バイオマスセンター建設工事</p> <p>2018年度 みやま市バイオマスセンター竣工、家庭系生ごみ収集開始 液肥散布(筍6.5ha、麦追肥12.1ha)</p> <p>2019年度 液肥利用協議会設立 水稲への液肥散布(元肥90ha、追肥72ha)</p> <p>2020年度 水稲への液肥散布(基肥98ha、追肥74ha)</p> <p>2021年度 水稲への液肥散布(基肥105ha、追肥88ha)</p> <p>2022年度 水稲への液肥散布(基肥102ha、追肥136.5ha)</p> |
| 2.紙おむつ資源化 プロジェクト | <p>2015年度 紙おむつ分別収集を市内36カ所に回収ボックスを設けて開始。 収集量増加に向け、住民説明会を通して回収ボックスの設置場所や紙おむつの出し方を伝え普及啓発を行っている。</p> <p>2017年度 住民説明会を生ごみ分別説明会と併せて行った。</p> <p>2018年度 回収ボックスを1つ増設</p> <p>2020年度 分別アプリの導入とそれによる紙おむつ分別の周知</p> |

イニシャルコスト

| | | |
|-----------|------------------------------|------------------|
| 事業化プロジェクト | 1. メタン発酵発電液肥化プロジェクト | 2. 紙おむつ資源化プロジェクト |
| 建設費・設備費等 | 2,116,800,000 円 (建設費・設備費) | |

ランニングコスト (円/年)

| | | |
|-----------|-----------------------------------|--------------------------------|
| 事業化プロジェクト | 1. メタン発酵発電液肥化プロジェクト 【2022年度実績】 | 2. 紙おむつ資源化プロジェクト 【2022年度実績】 |
| 運転管理委託料 | 135,000,000 | |
| 処理委託料 | | 8,693,000 |
| その他委託料 | 4,231,000 | |
| 設備工事費 | 21,124,000 | |
| 修繕費 | 1,454,000 | |
| 廃棄物処理費等 | 252,000 | |

事業の経営状況

| 事業化プロジェクト名 | 計画との進捗比較※ |
|---------------------|-----------|
| 1. メタン発酵発電液肥化プロジェクト | B ほぼ計画通り |
| 2. 紙おむつ資源化プロジェクト | B ほぼ計画通り |

※A)計画以上に進捗している B)ほぼ計画通り C)計画より遅れている D)進んでいない

成功要因

| 事業化プロジェクト名 | 成功要因 |
|------------------|---|
| メタン発酵発電液肥化プロジェクト | 生ごみ収集については、住民の理解と協力 液肥散布については、液肥利用者協議会での液肥散布計画作成と散布までの協力体制 |

波及効果（雇用増加、CO₂削減効果等）

| 事業化プロジェクト | 成功要因 |
|------------------|--|
| メタン発酵発電液肥化プロジェクト | メタン発酵発電施設の運転管理において、地元企業を採択し、雇用を生み出した。生ごみ、し尿・浄化槽汚泥を燃やさずに処理することによりCO ₂ 削減を図ることができた。 |

運営上の課題

| 事業化プロジェクト | 要因 |
|------------------|--|
| メタン発酵発電液肥化プロジェクト | 今後、施設の経年による維持補修に経費が掛かるようになるため、効率的な点検、保守に努めなければならない |

地域における脱炭素に関する計画について

| 計画名称等 | (策定済の場合) 策定した年度 |
|--------------------|---|
| 第2次みやま市地球温暖化対策実行計画 | 2021年度 https://www.city.miyama.lg.jp/s031/shisei/100/150/onndann.pdf |
| ゼロカーボンシティ宣言 | 2021年度 https://www.city.miyama.lg.jp/s031/shisei/zerocarbon.pdf |

地域における脱炭素化に関する取組概要

2021年8月に2050年までに温室効果ガス排出量の実質ゼロを目指す「ゼロカーボンシティみやま」を表明しました。

また、2022年3月には、第2次みやま市地球温暖化対策実行計画を策定し、2030年度における温室効果ガス排出量を区域施策編では2013年度比46%削減、事務事業編では80%削減することを目標として取り組みを行っています。